

「ニックネームで呼び合う居心地の良さ Z Friends」

2022年1月2日（日）B2 LEAGUE

アーフレンズ東京Z VS 福島ファイヤーボンズ 片柳アリーナ

15:00 TO 観衆388名 天候 晴れ



←日本工学院・片柳アリーナ

1、モッパー初体験

昨日の横浜エクセレンスに続いて二日続けてのBリーグ。本日は東京都城南地区（大田区、品川区周辺）をホームとする通称「アスフレ」ことアースフレンズ東京Zでの活動です。メインアリーナは羽田空港からも近い大田区総合体育館ですが、昨日からの福島戦はJR蒲田駅近くの方の片柳アリーナでの開催です。片柳アリーナ？ 実は初めて聞いたのですが、日本工学院の敷地内にあり、経営母体が片柳学園でのネーミングで納得がいきました。

片柳アリーナは建物の地下がアリーナとなっていて、地下3階の控え室にTO5時間前の午前10時に集合しました。当日は20名前後のボランティアの方たちがいて、初めての方はいないようで皆さん顔なじみのようでした。また20代から40代の若い方が多かったです。私は200部のチラシを折り込んだ後に、小学生の前座試合のモッパーを担当することになりました。

モッパー（コートスイーパー）とはコートのモップで拭くことで、Bリーグの試合では汗が床に落ちると滑りやすく、けがの予防に重要な業務だと教わりました。練習中は球拾いを手伝い、練習が終了し試合までの間がモッパーの出番です。コートの床をハーフラインまで2名で半分ずつ拭くのですが、試合が始まる時間は決まっておらず、タイミングをうまく掴み切れず、少しやり残して試合が始まりそうなためやり残してしまいました。試合は8分クォーターで1分のインターバルタイムにはフリースローラインのモップを拭く繰り返しでした。

2、短かった撤収作業

3試合目に休憩、控室でお弁当をいただきました。休憩時間が何時までで、終わったらどこに集合というのではなく、食事が終わったら控室で待機して頃合いを見てボランティア担当の社員が迎えに来るというスタイルでした。（私が初めてということと、片柳アリーナが2年ぶりでの開催ということもあったのかもしれませんが）私は1階入口で主に手荷物検査の担当でした。来場者はエスカレーターで地下まで降りるのですが、その途中でファンクラブ、グッズ売り場などがあり、そちらでも活動をしている方がいました。

13時40分に先行入場開始、13:50に一般入場開始です。近くには関係者受付、チケット確認(QRコードが多かったが、紙チケットのもぎりもあり)、チラシ配布、検温もボランティアの方が担当していましたが、社員の方がすぐそばにいたのでいつでも対応できるようでした。

TO後は来場者がほとんどいなくなり、試合終了後には撤収が始まりました。まずは幟り旗を片付け、グッズ売り場に陳列されている商品をケースにしまい、その後コートで床に貼られている養生テープをひたすらはがす。テーブルを倉庫にしまう。審判控室とボランティア控室のゴミ捨て。最後に備品をトラックに運びました。この撤収作業が2時間弱でした。いちいち指示を仰がなくても見よう見まねでできる業務でした。設営だったらそのようにはいかなかったと思います。一番時間がかかったのは養生テープはがしでしたが、終えた後の達成感は格別なものでした。通常の大田区体育館開催のときは搬出口が離れていて3時間程度かかると伺いました。(Bリーグはホームでも数カ所に分かれて開催されることが多く、当然ながら設営はアリーナごとにそれぞれ違うのは大変なように感じました。これもJリーグとの違いです)

3、ネームプレートはニックネームで記入

Bリーグは2連戦で開催され当日は2試合目のため、設営はなく(12月31日に実施)、試合運営と撤収で9時間という長丁場です。設営には丸一日かかるそうです。Jリーグに比べ2時間程度活動時間が長く、またコート内の現状復帰作業があるのが特色です。これは室内競技全般にいえるのではないのでしょうか?活動を楽しむというよりも、チームの一員として共に働く意識が高く、そしてボランティアといえども生半可な気持ちではできないとも感じました。

その反面撤収等では皆で声を掛け合うところも多く、必然的に仲間意識が生まれてきます。ネームプレートにはニックネームを書いている方も多く、ニックネーム+さん付けで読んでいました。そして私にも「何と呼ばれたいですか?」と気軽に話しかけてきました。

「Z Friends」というのがボランティアの正式な名前で、ほとんど毎回活動に来られている方もいらっしゃる伺いました。19時には終礼、解散となり、交通費1000円かチケットを選択できるのですが、迷わずチケットを選び、普段はサラリーマンで賑わう夜の街・蒲田を跡にしました。

追伸 本来は1月22日にいただいたチケットで観戦予定でしたが、中止になってしまいました。次回は番外編として、観客目線でのレポートを書かせていただきたいと思います。